

銀漢亭日録

伊藤伊那男



12月12日(木)▼三ヶ月に一度の「白熱句会」。木暮陶句郎、井上弘美、藤田直子、小山徳夫、檜山哲彦、佐怒賀正美さん。発行所「極句会」あと十三人。仕事で付き合ひのあった河田健次さんが、伊那北の同期生、桑澤文秀君と。丁度句会に来ていた井蛙、光辻さんとも会う。私は五十年振りの再会。

13日(金)▼十三時、武田編集長と日本橋。毎日新聞「デジタル毎日」の今井竜氏と打ち合わせ。あと三人で滋賀県の日本橋オフィス訪問。田原所長、柿町主幹と面談。アンテナショップ「ここ滋賀」の二階レストランで滋賀を絡めた句会開催についての打ち合わせ。店、全く客無く、十九時閉める。編集部が忘年会をすることになり、誘っていただき「揚子江飯店」へ。会食の中から次の企画について色々面白い提案が出る。

14日(土)▼十時、運営委員会、毎日新聞デジタルメディア局「俳句てふてふ」との提携の件など議題。十三時、麴町会館にて「銀漢本部句会」。五十五人。終わって中華料理店にて忘年会。二十数名。帰宅して娘夫婦と小酌。

15日(日)▼十一時半、みなとみらいの県民共済みらいホールにて藤川ミュージカルスタジオのクリスマスコンサート。伶輔君出演。十四時、馬車道駅へ。横浜忘年会句会。二十七名。旧横浜正金銀行本店本館、旧富士銀行横浜支店(旧安田銀行横浜支店)、旧第一銀行横浜支店、旧横浜生糸検査所などの建物を見学。旧税関事務所遺構を見て海上保安資料館横浜館。北朝鮮の工作船の展示に衝撃を受ける。中華街の「梅蘭」にて三句出し句会と忘年会。あと馬さんの店。

16日(月)▼「演劇人句会」六人。あと皆川文弘さん来られたので飲む。二十時まで。

17日(火)▼ひまわり館「萩句会」選句。店「関句会」六人。オリックス時代の部下、片山和哉君、ひよこり。

18日(水)▼高校同期「三水句会」七人。「雑句会」十五人。昨日、三ノ輪幹行してきたと。あと井蛙、展枝、麦と「幹」へ。幹は今年で閉店。私の隠れ家であった……。

24日(火)▼二日酔い。のろろ風呂。「高木珈琲」のリッチモニーングセット。コヒー佳し。「斗」さんに宿題の奈良の三句送る。羅生門跡をスタート。千本通りを中心に東寺、六孫王神社、島原、壬生寺、新選組壬生屯所旧跡など巡る。「京都三条会商店街」に入り、酸基漬漬山。壬生菜漬、白味噌その他をかう。寺町の「たつみ」迄歩き、柏汁、牡蠣、鉄皮、海鼠などで小酌。十七時「味どころしん」。和田ちゃんと落ち合う。皮剥の薄作り、車海老、ぐじなど。前夜の酒がまだ残っており、二十時、おひらきとして早々に寝る。

25日(水)▼六時起床。快調。九時間寝たか。九時出立。今日も「高木珈琲」のリッチモニーングセット。快晴。十一時、南座前にて仁井田さんと落ち合い、井蛙さんと三人、タクシで「將軍塚青龍殿」へ。快晴のテラスから京都の街を鳥瞰。徒歩で、円山公園に降り、大谷祖廟。妻の実家の墓、妻分骨の祖廟を墓参。平安神宮などを巡り、十五時半過ぎ。聖護院の「河道屋養老」、養老鍋で旅の打上げ。十九時位の新幹線に乗車。

26日(木)▼二時過、渡辺志水さんと神保町の郵便局。資金移動。妙子さんに星雲集選句稿渡す。店、小島健さん来店。「俳句α・あるふあ」中島編集長と岩波OBで同郷の今井康之氏。「大倉句会」幹事会の面々。気仙沼大島の牡蠣の畠山重篤先生が外科医の清水先生と。

27日(金)▼本年の営業終了日。戸矢一斗さん、太田うさぎさん、井蛙さんの声掛けで十五、六人集まり句会。たまたま来られた種谷良二さんなども巻き込んで。一平さん、峯尾文世さん。

28日(土)▼十二月の店の月次表作成。広島から到来の牡蠣の殻剥き、玄界灘の一本釣りのヒラマサを捌き、シャブシャブ。カラスミの干し上げ上々。あと大腹三さは塩漬のあとと酒びたしに。成城店」。ついにガラケーを卒業してスマホ「らくらくホン」の変更作業。あと喫茶店などで選句作業。四時間近く熱中。十八時過か、日暮しの伊藤政三さんの店へ。今日、年末打ち上げと。行くくと、朽木直、今井麦、戸矢一斗、森羽衣衣、こしだまほさんなどいる。二十一時過帰宅。家族は今朝から信州へスキーツアー。そのあと軽井沢で合流しないか?と誘われたが二月号の句

19日(木)▼屋内松山さん「天穹」の方々と。「銀漢句会」あと十三人など。

20日(金)▼M氏と奈良で遊ぶ計画があったので、早くから店休むことにしていたが、合流案無くなったので午後ゆるゆると奈良へ。年末の疲れもありホテルで休養。

21日(土)▼十一時十分、近鉄生口大野駅。恒例の「煤迷吟行会」。二十六名集合。バスにて室生寺門前「橋本屋」へ。山菜料理の昼食。丁寧で綺麗。さすがに老舗。室生寺拝観。奥の院まで。快晴。四十年振りくらいの訪問か。龍穴神社拝す。戻って大野寺の磨崖仏拝す。バスの迎えあり、榛原の「美穂苑」へ投宿。すぐ五句出し句会。関西勢、「雲の峰」の朝妻力主宰他四名の参加が嬉しい。十八時半、食事会。

22日(日)▼ナトリウム系の温泉。美肌の湯というだけのことあり。朝食佳し。山芋のとうろろ、塩鮓、美肌、粥等。九時発。聖林寺。十一面観音に再会。倉本明住住職の説明を受ける。たまたまの美しい寺。歩いて安倍寺跡。安倍文珠院にて昼食。文珠菩薩前にて祈禱を受ける。菩薩は庄巻の偉容。冬至の大神神社参拝。宝物収蔵庫見学。参道で酒少々。奈良の町へ出て「ホテルフジタ奈良」に荷を置き、「蔵」へ。茨木和生先生から差し入れの極上鰯、朝妻力さんからの同鰯を私が調理。五句出し句会。あと席題で四句出し句会。夕方から雨となる。

23日(月)▼皆六時から春日大社へ。私はゆつくり風呂。日記、その他の雑用こなす。八時五十分位の近鉄にて生駒。タクシにて分乗して磐船神社。雨あとにて磐船の中には入れず。白庭の長髓彦本拠地、鳥見白庭山、饒速日命墳墓などを巡り生駒にて解散。山下美佐、井蛙さんと三堆の添御泉坐神社へ。名前を替えた長髓彦をお祀りしており、それを知ったのは収穫。十五時、京都に出る。井蛙さんところから二人旅。駅の蕎麦屋で旅初めの乾杯。京都の酒を三杯飲んでしまう。相鉄フレックスイン京都投宿。十八時、歩いて堺町二条の「御所南 かまた」。和田ちゃん、今井悦子さん呼んで忘年会。今年閉店の制京。腕は確か。真魚鰯の西京漬。コッペ蟹のごはんなど印象的。あと祇園の「COCO」にてラーメンと餃子を食べてしまふ。ああ……また。

評等まだにて家に残ることに。

30日(月)▼終日家。会員評。彗星集評を書いて二月号原稿終了。クタクタ。

31日(火)▼カラスミ、追加の二腹干し上がり。そのあと追加の三腹干し始める。結局今年は十三腹。家族留守にて一人の大晦日。早々に寝る。

1月1日(水)▼快晴。午後、家族軽井沢から戻る。お節料理、白味噌雑煮、自家製カラスミ等々で新年の宴。渡辺花穂さん句集点検と跋文準備。

2日(木)▼今日はお澄ましの雑煮。朝からの酒でうたた寝。午後、家族揃って喜多見の寒川神社へお参り。花穂さん句集の跋文、ほぼまとめてまたうたた寝。夜、トラバガニ、ズワイガニ、ヒラマサの塩焼きなど。

3日(金)▼部屋の片付け、五時間ほど。ようやく歩ける広さとなる。

4日(土)▼部屋を整頓。「銀漢新年俳句大会」の選句(応募五百数十句)。飯田眞理子句集の原稿チェックなど。あとは怠惰に過ごす。

6日(日)▼午前中、会員の折原あきさんの親戚より電話。あきさんの今朝、ご逝去と。「銀漢」に参加されて一年少々か。ご冥福を祈る。今日より「銀漢亭」スタート。小川洋、清人さん。「月の匣」の水内慶太氏一派。慶太氏、年末体調崩しておられた(奈良での合流叶わず)。麦さんの友人グループ。「かさざび俳句勉強会」あと十人などなど。大賑わい。蒨子、スキー、今日の大会スラロームの部でインターハイ東京からの出場者十人に選抜! 快拳!

7日(火)▼冷たい雨の一日。毎日新聞の今井竜さん。私のスマホに毎日「俳句てふてふ」を開設して下さる。客無く、二十一時前に閉店。

8日(水)▼発行所「梶の葉句会」。西村麒麟君、一月二十七日の「角川俳句賞」受賞式のととの二次会。銀漢亭でやりたいとの相談あり。「きさらぎ句会」あと六人。蒨子スキーもう一つのジャイアントスラローム、0.04秒差でインターハイ逃す。スラロームの代表は獲得しているが。